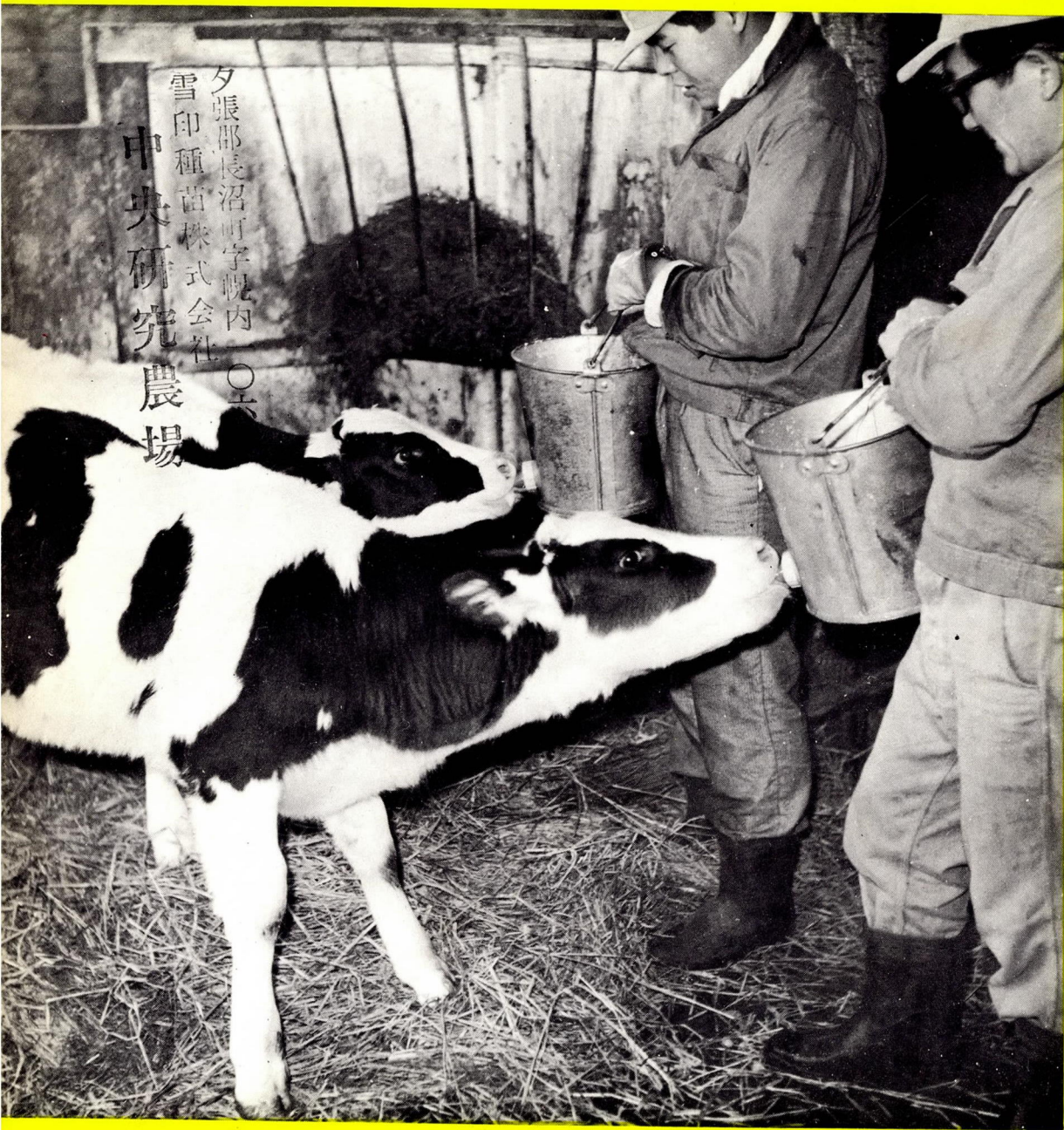


# 藝園草牧

第十八卷・第二号

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可  
昭和四十五年二月一日(毎月一回)日発行



夕張郡長沼町字幌内 ○六  
雪印種苗株式会社  
中央研究農場

雪印種苗株式会社

# スイートコーンの作型と品種

**作型** 秋の味覚を代表するスイートコーンの作付は年々増え、冷凍加工されるものも多く、周年街の店頭にかざられるようになった。しかしなんとつてももぎたてを生食するのが第一で生産は8～9月に集中される。スイートコーンの作型は加工向を含めて直播がほとんどを占め、収穫を早めるために一部でマルチ栽培、移植栽培が行なわれている。

## ◇移植栽培

スイートコーンは移植を嫌い、移植鉢、ペーパーポットを使っても本葉3～4枚、苗令で20～25日以上育苗は定植後の生育が悪い。また大きい鉢を使い、短期間育苗のために育苗温度を高めると、花芽の分化が早まり、生育は急ぐが、株の発育が伴わないため良

い穂にはならない。苗を露地に定植すると、5月中下旬では地温低く、寒い風にでも当たると、生育が停滞して移植の効果がうすらぐ。やはりトンネル内に定植して生育を促進するのが有効である。定植期は5月上中旬が適期で、ビューターなら7月下旬に収穫できる。

## ◇マルチ栽培

直播した畦にビニール又はポリフィルムを被覆して地温を高め、発芽してくると、株のところだけ穴をあける。霜の心配さえなければ直播より2週間位早播できる。マルチでは雑草も良く繁茂するから、播種後アトラジンを散布してからフィルムを覆うようにするとかなり雑草を抑えることができる。直播より10日以上収穫を早めることができる。

スイートコーンの栽培型による促成効果

栽培型	品種名	調査年	播種期	収穫期	生育日数	促成効果
移植(トンネル) (直) *	ゴールデン クロスバンタム	S 39	月 日 4 22 5 11	月 日 8 6 8 24	日 107 105	日 18 <sup>H</sup>
移植(露地) (直) +	” ”	S 38	5 11 5 21	8 18 8 30	99 101	12
マルチ栽培 (直)	” ”	S 43	5 2 5 16	8 12 8 24	102 100	12

\* 育苗日数 25日      + 育苗日数 20日

**品種** スイートコーンの品種はゴールデンクロスバンタムで代表されている。穂の大きさ、形、収量、品質のいずれの点から見ても最もすぐれている。加工用にも多く本種が使われている。ゴールデンビューターより10～14日位晩生だが、草勢強く、移植による植えいたみは少ない。分けつの多いのが特長で除けつしなくとも収量の差はみとめられないが熟期が多少おくれるといわれている。

ゴールデンビューターは早生種で、穂が大きく、や

や草勢も強いので、早出し用の専用種として、移植栽培、マルチ栽培に多く取りあげられている。

アーリーキングは極早生種だが、穂は比較的大型になる。草生弱いため移植栽培では植えいたみ多く、若苗を丁寧に取扱わないと半不稔になりやすい。普通ゴールデンビューターより3～5日早い程度だが、昨年のような不順天候のもとでは熟期の差が大きくひらき、早出しに多少とり入れておいて有利な品種である。

品種特性表

	生育日数	稈長	穂重	穂長	穂径	列数
F <sub>1</sub> アーリーキング	97 <sup>H</sup>	139 <sup>cm</sup>	222 <sup>g</sup>	17.6 <sup>cm</sup>	4.86 <sup>cm</sup>	12
F <sub>1</sub> ゴールデンビューター	100	151	256	20.3	4.76	12～14
F <sub>1</sub> N K 7 5	107	174	199	19.2	4.76	12～14
F <sub>1</sub> ゴールデン クロスバンタム	118	183	244	20.8	4.40	12～14